

令和4年度 町政執行方針



3月8日、令和4年第1回月形町議会定例会が招集されました。

町政執行方針と教育行政執行方針は、要約されて、述べられました。今回、掲載した内容は、抜粋および要約したものとなっています。全文については、町ホームページからご覧になれます。

なお、町政執行方針に記載されている令和4年予算大綱については、6・7ページに掲載しています。

■全文掲載について

【町政執行方針】

●町公式ホームページ→行政について→町の組織→企画振興課→「町政執行方針」

●問合せ先 企画課振興課 ☎ IP 53・2325

【教育行政執行方針】

●町公式ホームページ→議会・委員会→教育委員会→「教育行政執行方針」

●問合せ先 教育委員会 ☎ IP 53・3443

人口減少を抑制する施策を講じてきましたが、住民基本台帳人口が3000人を割り込んでしまいました。大変残念なことではありますが、月形の地で心豊かな人生を送ることができるよう皆さんの暮らしを守る決意を新たにします。

令和4年度を主要事業をはじめとする重要施策の実質的な着手元年と位置付け、町民保養センター等の改修、義務教育学校の設置、地域拠点施設の整備など、観光・商業の振興、子どもたちの教育環境などの充実に取り組んでまいります。

また、2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ月形」を表明し、今後、脱炭素化に向けた施策を推進してまいります。

大きな事業にのみ目を向けるのではなく、私が信条としております共生のまちとして、引き続き弱い立場の方に寄り添うとともに、とりわけ新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の円滑な実施をはじめ、経済的な打撃への対処など、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期してまいります。

いま、月形町は大きく変わり始めていると感じます。若い世代が未来に夢と希望を持つことのできるまちづくりを進め、町民皆さんの思いを受けとめ、町議会議員各位と議論を交わし、職員とともに考え行動し、町政にまい進してまいります。

みんなにやさしく健やかなつきがた

新型コロナウイルス感染症予防対策

国や北海道と連携した情報発信と普及啓発活動を継続していきます。新型コロナウイルスワクチンについては、追加接種を行うとともに、5歳から11歳までの子どもにも接種を迅速に行い、感染対策に万全を期します。



健全な町立病院の運営

入院患者が増加していることから看護師を増員し、地域医療体制の確保と充実を図ります。

子育て支援を拡充

認定こども園の屋外大型遊具が老朽化しているため、修繕します。また、1～2歳の年少児用屋外遊具を設置することとし、心身の健康づくりや楽しく安全な屋外活動の促進に努めます。

不妊症および不育症に悩む方々の治療費に対する助成を継続し、新たに、治療にかかる交通費の助成も開始します。



豊かでにぎわいのあるつきがた

農業施設の整備

大豆調製施設の機能強化のために、施設改修の支援を実施します。

森林保全

森林環境譲与税を活用した普及啓発の取組として、植樹事業を実施します。

商工業の担い手の確保

後継者や新規就業者を支援する「商工業後継者等新規就業支援事業」、就業者の移住およびそのマッチングを支援する「U I J ターン新規就業者支援事業」を実施します。

月形町振興公社の経営改善

民間企業から温泉などの運経営に専門的な知見を有する人材の派遣を受ける地域活性化起業人制度を活用します。



道の駅の整備と 町民保養センターの改修

月形町拠点施設整備等審議会に諮問していたご意見に沿って、準備を進めていきます。

本田明二ギャラリーの開設

本町出身の彫刻家故本田明二氏の作品を展示するギャラリーを整備します。



快適で安全・安心なつきがた

下水道事業の公営企業会計化に向けて

施設設備などの適正な資産管理を行うため、会計方式を特別会計から公営企業会計への移行準備を進めてまいります。また、汚水処理施設については、2カ所ある施設の再編に向け、将来の構想を協議・検討します。

交通安全

本町では、令和2年12月に「交通事故死ゼロ2000日」を達成し、現在も継続中であり、全町を挙げての交通安全街頭指導の実施や日常的な登下校時の児童生徒への声掛けなど、交通安全啓発を継続していきます。

消防・防災対策

地域防災力の中核を担う消防団員の報酬額の引き上げる処遇改善を行います。

防災講話や防災訓練などの普及啓発を引き続き行います。また、災害に備え、関係機関や企業と連携し、災害協定の締結を進めていきます。

脱炭素社会の実現に向けて

国では、脱炭素社会に向けた取り組みを強化する中、北海道においても道内全市町村の「ゼロカーボンシティ宣言」を目標に設定していることから、地球温暖化対策実行計画の策定に着手します。

人が輝き文化が薫るつきがた

義務教育学校の設置

月形町義務教育学校設置審議会からの答申を基に、義務教育学校の設置および学校施設の改修などについて判断してまいります。また、併せて学校給食のあり方についても、検討を進めます。

社会教育施設などの効率的な管理

町内の社会教育、社会体育施設をより効率的、効果的に活用管理するため、月形樺戸博物館、農業研修館、野球場、パークゴルフ場、多目的アリーナの管理を教育委員会に移管します。

新潟市月潟地区との児童交流

昨年、オンラインによる記念式典を開催し、30年続いてきた訪問による交流は終了しました。今後は、小学校同士によるオンラインを活用した児童交流などが計画されており、地域間交流事業推進委員会において継続した支援を引き続き推進します。



▲児童交流

発展への基盤が備わったつきがた

公営住宅の改修

昨年度のひまわり団地1号棟に引き続き、ひまわり団地2号棟の屋上防水・外壁改修を行います。

除雪対策

除雪作業効率の向上と住民生活の更なる安全安心に寄与するため、ロータリ除雪車を増車し、除雪体制を強化します。

定額ハイヤーの運行

試験運行しておりました定額ハイヤーを本年度から本格運行します。

橋梁の整備

新田地区の19号橋の補修工事と昭栄地区の北17号橋の補修設計業務に取り組みます。

町道の整備

円山一号線道路改良舗装工事を行い、旧J R踏切部分の改良と踏切で分断されていた歩道を繋つなげることで、歩行者の安全を確保します。

J R旧鉄道用地の利活用

鉄道跡地の撤去を計画的に進め、町道の新設や改良などを行うとともに、線路跡地については、農業者などへ譲渡します。



ともに生き、ともにつくるつきがた

拠点施設の整備

昨年度、地域拠点施設整備等審議会に地域拠点施設の整備について諮問しました。本町のコミュニティの核となる地域拠点施設が、町民の暮らしに安心と賑わいを与えてくれる施設を目指します。

旧知来乙小学校の活用

平成19年から旧知来乙小学校を活用してきたNPO法人が昨年10月をもって施設の利用を終了しました。新たな施設の活用者は芸術家アトリエとしたり、アート教室などを行うとして応募のあった事業者に決定しました。

次代を担う子どもたちには、未知の社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を、一層確実に育成する教育が求められています。

「学びを止めない」環境を整えました。

コロナによって教育を取り巻く環境も大きく変わりました。とりわけ学校では1人1台端末が当初の予定を前倒して整備され、このことによりこれから求められるICT教育や非常時には家庭からオンラインでの活用が可能となり、まさに「学びを止めない」環境が整いました。

子どもたちの学習の質を高める教育活動を推進するとともに、誰もが生涯にわたって、健康で豊かな社会生活を送るための環境や体力づくりを支援する社会教育を目指し、教育行政を推進してまいります。

こうした認識の下、アフターコロナを見据え、令和4年度も昨年度に引き続き「支え合う月形の教育」を目標に、学校教育においては、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育計画を編成・実施し、子どもたちの学習の質を高める教育活動を推進するとともに、誰もが生涯にわたって、健康で豊かな社会生活を送るための環境や体力づくりを支援する社会教育を目指し、教育行政を推進してまいります。

人類未曾有の危機ともいえる新型コロナウイルス感染症が突如として発生し、瞬く間に全国に拡大してから2年が経過しました。

また、町民の皆さまが芸術や文化、スポーツやレクリエーション活動などを通して活力ある地域社会を築き、豊かな心を育むための生涯学習の環境や質の高い活動への期待は大きいものがあります。



教育長 古谷 秀樹

教育行政執行方針

学校教育の充実

確かな学力の育成

デジタル教科書の導入を進めるため、小・中学校で英語科を中心にデジタル教科書実証事業に取り組めます。また、引き続き非常勤講師を小中学校に配置し、「ティーム・ティーチング指導」による細やかな指導に努めます。

豊かな心と健やかな身体の育成

「いじめ」の未然防止、早期対応等、生徒指導の充実を図るとともに、「仲間づくり子ども会議」の継続と「仲良しコミュニケーション交流会」への参加を促すなど、「いじめが起きない」環境づくりに取り組めます。

安全・安心な環境づくり

小学校の特別支援教室にエアコンの設置と盤面の広い学習机への計画的更新を行います。

老朽化したスクールバスは順次計画的に更新し、今年度は南便の中型バスをマイクロバスに更新します。なお、この間、コロナ禍における緊急的な措置として北便のスクールバスを増便して運行しておりましたが、他市町の状況などに鑑み以前の運行に戻しますのでご理解をお願いします。

地域とともにある学校づくり

義務教育学校の設置に向けて、昨年11月に設置審議会を立ち上げ、協議してまいりました。今後は保護者説明会を開催して広く意見を伺い、審議会の答申を受け、設置者の判断をもって基本構想をまとめてまいります。

月形の子どもたちにとって、最良・最善な教育環境を提供し、夢のある学校づくりを目指します。

高等学校生への支援

月形高校は地域連携特例校の導入により、遠隔授業の受信が可能となりました。また、小規模校ならではの個々の習熟度に応じた丁寧な指導が評価され、今年度の入試選抜では、学区内外の複数の中学校から出願がありました。こうした特色を発信しながら生徒の確保に向けて、学校と連携して生徒募集活動を一層強化し高校の存続に向けて取り組めます。



社会教育活動の充実

青少年健全育成の推進

アフタースクール事業の実施や子ども会の活動支援など、次代を担う青少年の健全育成に努めます。また、青少年健全育成基金を活用し、さまざまな分野で活躍する子どもたちを応援します。



生涯学習の推進

生涯学習講座は、この2年間十分な活動ができず、これまでの実績と受講者の要望を踏まえ、より多くの参加が得られるよう、新しい講座を開設するなど、工夫して学習環境の充実に努めます。

読書活動の推進

幼児期からのブックスタートなどと共に、移動図書や読書ノートの発行など、読書機会を拡充する事業を継続してまいります。

図書館については、今年度より利用の極めて少

ない日曜開館は休止することとしましたのでご理解をお願いします。

スポーツ活動の推進

今年度から野球場、多目的アリーナ、パークゴルフ場などの体育施設は総合体育館と併せて教育委員会が管理します。これら施設は合宿での利用など、宿泊施設との関連が深いことから、指定管理者と連携し適正な管理に努めてまいります。

総合体育館の正面屋上陸屋根部分の防水および体育館前面の一部塗装工事を施工いたします。

文化・芸術活動の推進

「月形樺戸博物館」は、本年度から教育委員会に所管を移し、教育文化施設として管理します。また、農業研修館2階には本町出身の彫刻家、故本田明二氏の遺作を展示するギャラリーを整備します。

